

1 日 時：平成30年7月11日（水）15：00～

2 会 場：白川町町民会館 大研修室

3 議 事

(1) 事務局からの説明

- ・公正確保について
- ・教科用図書の調査研究の概要

(2) 可茂地区採択協議会会長挨拶

- ・会議の開会を宣告
- ・可茂地区において、特別の教科道德の教科書を選定することについて

(3) 会の成立

- ・委員の半数以上の出席があり、会が成立することを確認

(4) 議案の審議

- ・規約第3条に基づき、可茂地区採択協議会副会長の進行で議事を行った。

《中学校「特別の教科道德」の調査研究報告》

- ・8者について特に①「道徳的価値についての内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性」、②「読み物教材の登場人物に自我関与する学習や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習」、③「発達の段階や特性等を考慮した、多様な教材の開発と活用」の3つの重点をもって調査研究をした。

《東京書籍》

- ・学年段階に応じた重点項目を設定し、複数の教材を連続して配置し、繰り返し学習できるよう、配慮されている。
- ・問題解決的な学習が行える教材を各学年に複数時間の扱いで配置し、少人数での話し合いを位置づけるなどを通して考えを深められる工夫がされている。

《学校図書》

- ・各教材に「学びに向かうために」を配置し、考える視点や意見交換の視点が持てるよう配慮されている。
- ・「心の扉」のコーナーを随所に配置して、学習した内容について、個人あるいは仲間とより深く考えられるような教材の工夫がされている。各学期ごとに、「学びの記録」を位置づけて、生徒が自己評価できるよう工夫されている。

《教育出版》

- ・教材の最後に「学びの道しるべ」として、生徒が考える視点や学習の流れが示されている。
- ・「やってみよう」では、役割演技を位置づけ、具体的な場面を想定して考えが深められるよう工夫されている。

《光村図書》

- ・年間の指導計画を、4つのシーズンと複数のユニットで構成し、発達段階に応じた指導が行えるよう工夫されている。各教材には、「学びのテーマ」が位置づけられ、考える観点や、多面的、多角的な考え方へのアプローチが適切に示されている。
- ・教材は、伝記、実話、定番資料、文学作品などバランスよく取り上げられ、多様な学習展開が促されるよう工夫されている。

《日本文教出版》

- ・重点項目が計画的に配置され、集中的に学習できるよう工夫されている。問題解決的な学習のすすめ方が示され、仲間と話し合い、考えが深められるよう工夫されている。
- ・道徳ノートが別冊で付けられており、道徳の時間に合わせて活用できるように配慮されている。

《学研》

- ・A4版のサイズで、写真や挿し絵、図などが効果的に盛り込まれている。
- ・「深めよう」や「クローズアップ」で、教材と関連のある話題を取り上げ、学習したことを広げられるよう工夫されている。

《廣済堂あかつき》

- ・これまでの道徳の授業で扱われてきた、いわゆる定番の読み物教材が多く取り上げられている。なじみやすさもあり、教材研究への抵抗感の軽減にもつながる。
- ・「考える・話し合う」が全ての教材に位置づけられて、教材のねらいや学習の進め方が具体的に示されている。
- ・道徳ノートが別冊で付けられており、道徳の時間に関連させて活用できるよう配慮されている。

《日本教科書》

- ・教材が、指導要領に示されたA～Dの内容ごとのまとまりで、順に配列されている。
 - ・各教材に「考え、話し合ってみよう」が位置づけられて、話し合いを促す視点が示されている。
-
- ・8者のうち東京書籍と光村図書は、重点項目を明確にした意図的な教材配列、伝記、実話、物語や詩、さらに、新聞記事や漫画など、多様な教材を取り上げ、生徒が主体的によりよい生き方について議論したり考えを深めたりできるよう特によく配慮されていた。また、いじめや生命の尊重、情報モラルなどの現代的な課題にも目が向けられるよう、意図的な教材の配置や構成となっていた。
-
- ・以上、調査項目とその着眼点から調査研究を行った。総合的に見て、光村図書が最も適している判断した。
 - ・光村図書では、意図的な教材配列の工夫が明確であると同時に「人と人との関係づくり」「共生」「いじめ」「情報モラル」「社会参画」「環境」「国際理解」の現代的課題について、全ての学年において関係する教材に「コラム」を位置づけ、学習内容に広がりを持つことができるよう、よく工夫されている。
 - ・教材は、文科省資料、定番の資料、伝記、実話、文学作品、詞など多様なジャンルの内容がバランスよく取り上げられており、生徒の心を打つ感動的な教材や生徒の心を揺さぶりより深い考えを導くことを意図した教材の選定や編集が大変よく工夫されている。

- ・「学びのテーマ」で、自分の考えを明確にし、グループでの話し合いを通して、再度自分の考えを見つめ直し、ねらいとする道徳的価値についてより深く見つめられるよう、よく配慮された教材が位置づけられている。

《報告を受けて協議》

- ・選定の過程で、どのように絞り込んだのか。
(総合的に判断できるように、調査員で数値化して選定した。)
- ・どのような手順で候補を挙げたのか。
(着眼点、重点とする項目をもとに、4者に絞り、その後2者、1者とした。)
- ・郷土に係わる教材として杉原千畝が入っていないが意図的なのか。
(意図的ではない。)
- ・国語を中心としている会社であるが、考えさせる道徳につながるのか。
(描きすぎず、行間やその先をじっくりと考えることができるように配慮されている。)
- ・中学校「特別の教科道徳」教科用図書採択原案について、全員一致で原案通り可決した。
- ・「平成31年度使用小学校教科用図書可茂地区採択原案」及び「平成31年度使用中学校教科用図書可茂地区採択原案（特別の教科 道徳以外）」を提示し、審議した。
- ・全員一致で原案通り可決した。

(5) 連絡

- ・7月11日以降に各市町村（組合）教育委員会は採択協議会の採択原案を議決し、7月31日までに完了することを確認した。
- ・採択案が議決されなかった場合は、「協議が調わなかった場合の手順」に従いながら対応を進め、8月15日までには議決書を提出することを確認した。
- ・情報公開について、情報公開の対象及び情報公開の窓口を確認した。
- ・本協議会に係る情報について、8月31日までは非公開であるため、内容等について他言しないよう依頼した。

(6) 可茂地区採択協議会会長挨拶

- ・本協議会出席へのお礼
- ・会議の閉会を宣告